

令和8年度 江戸川区立小岩第五中学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな人 ・知性に富む人 ・心豊かな人 ・勤労を尊ぶ人 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身につけ、豊かな人間性や社会性を育み、個性や特性をお互いに認め合うとともに生き生きと活動でき、規律と活力のある安全・安心な学校を目指す。 ・多様で変化に富んだ時代に希望をもって主体的・意欲的に生き、将来を切り拓くことができる生徒の育成を目指す。 ～向上心と自立心の旺盛な生徒・あきらめずに粘り強く主体的に取り組む生徒・他に対して思いやりをもてる生徒・心身ともに健康な生徒～ ・最大の努力を惜しまず、使命感と自己研鑽に励み、学びに向かう意欲を育て、人権に配慮した言動と指導ができ、責任ある職務の遂行ができる教師となることを目指す。
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> ・学校として家庭学習を定着化させ、生徒の家庭学習を習慣付けを意識した。 ・通常学級と特別支援学級における、行事や教科での交流を通して互いを理解し、個性を尊重し合う関係を築けるようにしてきた。 ・生活アンケートやL-Gateの毎日の記録を活用し、いじめの兆候が見えた際には、すぐに聞き取りを行い、指導を進めていくことで、いじめの未然防止につなげることができた。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度全国学力学習状況調査において都平均との差が、国語は－8%、数学が－15%とその差は依然大きく、学力向上が本校の大きな課題となっている。 ・令和7年度は不登校生徒の割合が14%と高い水準となっている。

重点	取組項目	具体的な取組内容	目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	○学力の向上 ・基礎・基本の確実な習得 ・家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ・授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習教室の実施 ・各種コンテスト実施 ・一人一台端末の活用の工夫 ・自分を振り返りセルフコントロールするためのノート（SBS）の定着 ・授業力向上に重点を置いた校内研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・補充教室登録者数100% ・各種コンテストで合格率70% ・年間4回の授業力を高められるICT研修の実施 ・家庭学習ノートの毎日の実施 ・授業力向上のための校内研修（授業を見あう会・研究授業等）年3回以上 					
	○読書科の更なる充実 ・読書活動を通じて、読解力を向上させ、探究的な学習を実施・充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの図書室開室 ・行事の事前学習の中での、探究的な学習への取組 ・学校司書と連携した探究的な学習に対しての下調べの実施 ・読書紹介や読書科コンクールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間貸出平均3冊以上 各学年、年間で1度は探究的な学習を計画的に実施 ・学校司書と連携した授業前の下調べが年1回以上 ・コンクール等を通し情報収集能力や分析力がついたという回答率の向上半数以上 					
体力の向上	○運動意欲や体力の増進 ・運動意欲や基礎体力の向上に向けた取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの測定と結果の活用 ・体育の授業の導入における、ランニング、準備運動、補強運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト都平均に近づけるようにしていく ・毎回の授業で実施 					
	○朝トレによる体力増進（支援学級）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝トレーニングの実施による体力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・試験前、朝礼時、行事準備などがない限り朝トレは週3回実施（雨天時は体育館で縄跳びを実施） 					
実現に向けた共生社会の推進	○特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常級と特別支援学級との共同学習5教科以上 ・すべての行事におけるあたりまえの交流活動 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援巡回指導員や不登校巡回指導員、特別支援教室専門員、SC、SSWとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回程度、通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施 					
	○標準服の見直しを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策とジェンダーレスを意識した標準服への変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年度（70周年）、新入生から実施 					

重点	取組項目	具体的な取組内容	目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
不登校の対応・いじめの充実	○エンカレッジルーム（不登校別室指導）の利用方法などの円滑な実施	・エンカレッジサポーターの配置人数の充実や特別支援教室専門員の連携による、学校における居場所づくりの推進	・不登校発生率都平均値7.67%以下					
	○教育相談の強化	・いじめアンケート等をもとにした個別相談、教育相談（三者・二者面談）前の個別面談の実施	・2月末でのいじめの未解決率0%					
	○生徒の様子が読み取れる資料の活用	・L-gateや連絡ノートを通して生徒のつばやきを必ず拾える体制の構築	・L-gateや連絡ノートを授業日は毎日提出させ回収、心配だと感じた時の教員側の対応をしっかりと行う					
学校（園）の地域社会に開かれた実現	○学校HPの充実	・定期的なホームページの更新	・授業日の更新率90%以上					
	○学校公開の充実	・学校公開でのアンケートの実施と改善 ・見学者にもしっかりと訴えかけられる内容の工夫	・全校公開にてアンケートを実施とそれをもとにした改善策の検討					
	○学校だよりの充実	・学校だよりの定期発行（毎月第二火曜日発行を目標に行う）	・年間で10号以上の発行					
教育の特色ある展開	○食育の推進	・テーマによる献立 ・給食試食会の実施 ・季節感を感じる給食メニューの実施	・テーマ献立年間30回以上 ・給食試食会とともに保護者への食育講話及び学校保健委員会実施					
	○キャリア教育の充実	・進路指導の充実	・保護者参加型の進路説明会を年2回実施					
	○学校における働き方改革の推進	・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 ・留守番電話を17時に設定	・教員の在校時間を昨年度比10%減					